

# 東北地方 1か月予報

( 12月10日から1月9日までの天候見通し )

平成17年12月9日  
仙台管区気象台発表

## <特に注意を要する事項>

12月に入ってから気温の低い状態が続いているが、この先1か月も気温の低い日が多く、特に期間の前半は強い寒気の影響を受ける見込みです。

## <予想される向こう1か月の天候>

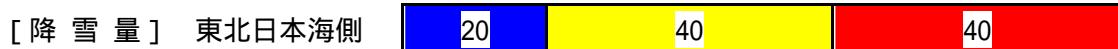
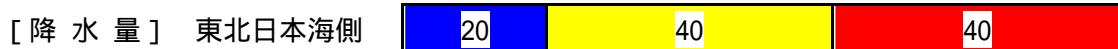
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

冬型の気圧配置となる日が多く、一時強い寒気が南下するでしょう。東北日本海側は平年と比べて曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は東北地方で低い、降水量は東北日本海側で平年並か多く、東北太平洋側では平年並、日照時間は東北日本海側で平年並か少なく、東北太平洋側では平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は低い、2週目は低い、3～4週目は平年並か低いでしょう。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)     平年並     高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



 低い     平年並     高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 12月10日(土)～1月9日(月)

1週目 : 12月10日(土)～12月16日(金)

2週目 : 12月17日(土)～12月23日(金)

3～4週目 : 12月24日(土)～1月6日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は12月16日

3か月予報：12月22日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)	気温( )		
					1週目	2週目	3~4週目
大船渡	2.5	36.1	141.8	1	3.6	2.7	2.0
新庄	0.3	205.7	37.3	216	1.5	0.6	-0.2
若松	1.0	87.1	72.0	138	2.2	1.3	0.4
深浦	1.5	116.6	32.3	93	2.6	1.8	1.1
青森	0.3	143.9	53.6	194	1.5	0.6	-0.2
むつ	0.3	91.1	73.1	125	1.4	0.5	-0.2
八戸	0.6	41.0	128.5	68	1.8	0.9	0.1
秋田	1.7	145.6	45.6	97	2.9	2.0	1.2
盛岡	-0.2	57.6	109.1	82	1.0	0.1	-0.7
宮古	2.1	38.3	153.2	27	3.2	2.3	1.6
酒田	3.3	184.5	40.8	91	4.5	3.6	2.9
山形	1.3	81.8	83.8	125	2.6	1.7	0.8
仙台	3.3	30.0	145.3	21	4.5	3.6	2.8
石巻	2.3	28.1	157.2	0	3.5	2.6	1.8
福島	3.2	36.6	129.9	47	4.4	3.5	2.6
白河	1.8	27.0	155.1	33	3.0	2.1	1.3
小名浜	5.2	37.5	184.6	0	6.3	5.5	4.7

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.6	76~102	97~104	71~105
東北日本海側	-0.3~+0.6	90~106	89~107	81~109
東北太平洋側	-0.2~+0.6	62~105	98~105	58~107

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.6	-0.6~+0.7	-0.2~+0.7
東北日本海側	-0.6~+0.6	-0.6~+0.6	-0.2~+0.7
東北太平洋側	-0.6~+0.6	-0.6~+0.7	-0.2~+0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成17年12月9日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(12月10日~1月9日):

冬型の気圧配置となる日が多く、一時強い寒気が南下するでしょう。東北日本海側は平年と比べて曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

1週目(12月10日~12月16日):

冬型の気圧配置で、東北日本海側を中心に曇りや雪の日が続くでしょう。東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。なお、期間の前半は冬型の気圧配置が強まり、東北日本海側を中心に荒れた天気となるおそれがあります。

平均気温は低いでしょう。

2週目(12月17日~12月23日):

冬型の気圧配置となる日が多く、強い寒気が南下しやすいでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

3~4週目(12月24日~1月6日):

冬型の気圧配置となる日が多く、一時強い寒気が南下するでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

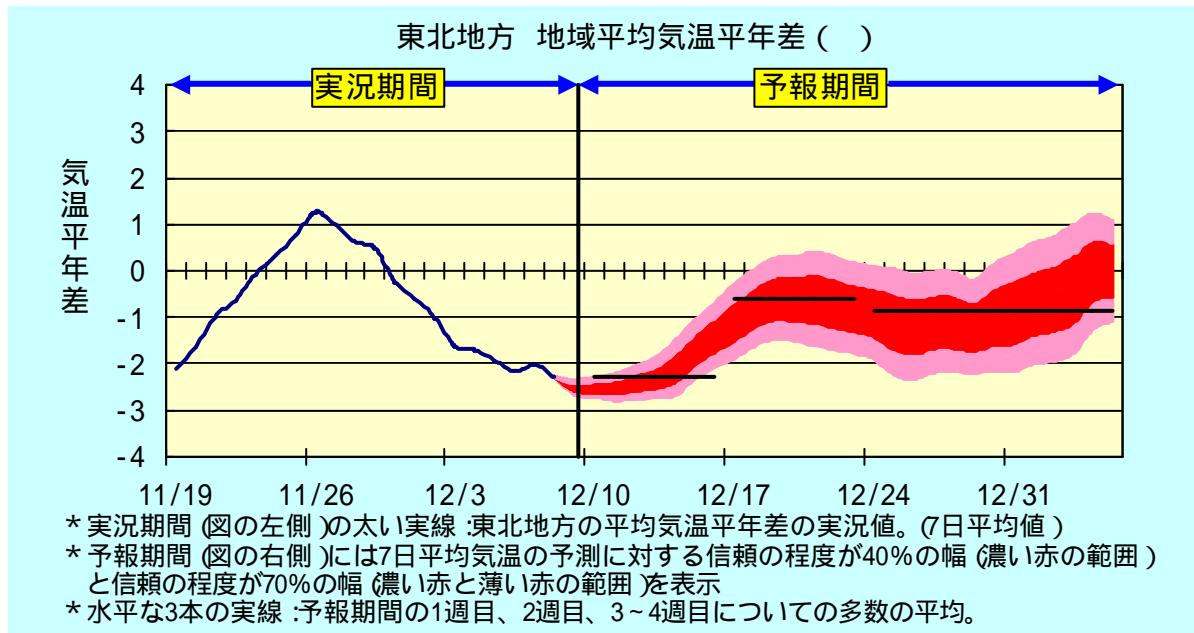
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	4.5日	1.1日	1.1日	2.3日
東北太平洋側	17.0日	4.1日	4.4日	8.5日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目を「低い」、2週目を「平年並」、3~4週目を「低い」と予測している。予報はその他の資料から2週目を「低い」、3~4週目を「平年並か低い」とする。

なお、数値予報の信頼度は大きい。

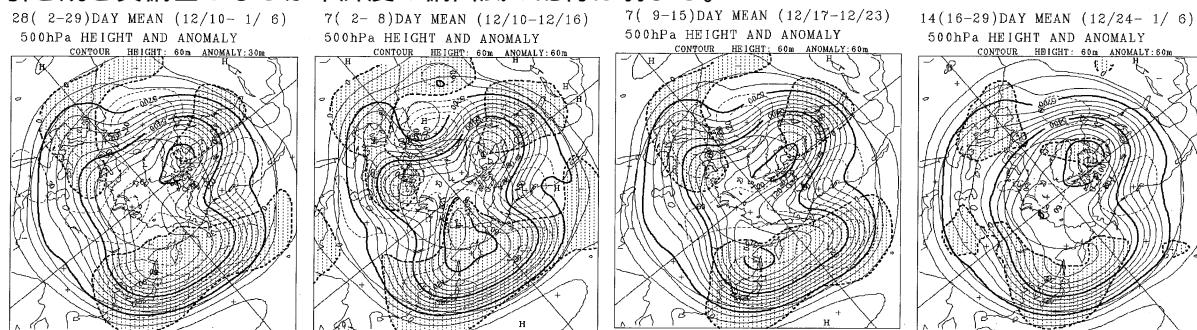


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、極東付近の中緯度帯は広く負偏差、北極付近は正偏差となり極付近の寒気は中緯度帯まで南下しやすい。

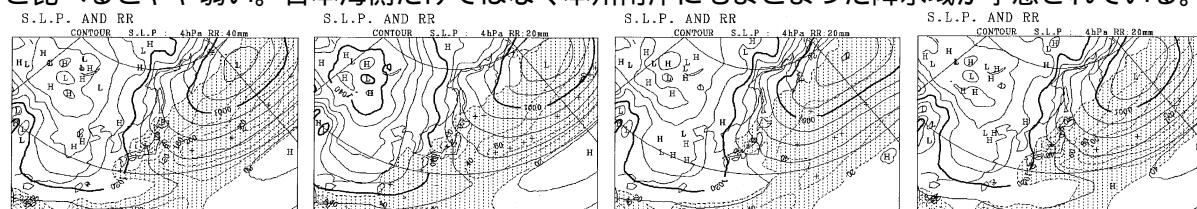
1週目は、シベリアとアラスカ付近の気圧の尾根とその間の気圧の谷が明瞭に見られ、日本付近には強い寒気が南下しやすい。2週目は、シベリア付近の気圧の尾根はやや弱まるものの、ほぼ1週目と同様の大気の流れで日本付近は寒気の影響を受ける見込み。3~4週目は、日本付近は引き続き負偏差となるが中緯度の偏西風の蛇行は弱まる。



#### 地上気圧と降水量：

月平均では、冬型の気圧配置が明瞭。日本海側にまとまった降水域が予想される。

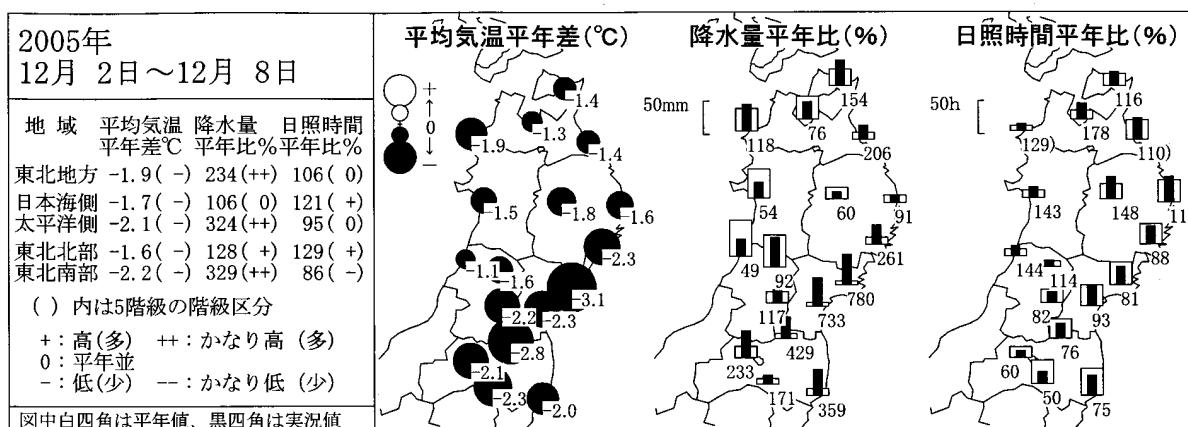
1週目は、大陸の高気圧がこの期間を通じて最も強く、冬型の気圧配置は平年よりも強い。2週目は、大陸の高気圧は1週目より弱まる予想だが、アリューシャン付近の低気圧は強まり、冬型の気圧配置が強い状態は続く。3~4週目は、引き続き冬型の気圧配置が予想されるが、1、2週目と比べるとやや弱い。日本海側だけではなく本州南岸にもまとまった降水域が予想されている。



### 4. 最近1週間（12月2日～12月8日）の天候の経過

この期間、寒気が南下し冬型の気圧配置となる日が多かったため、東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。4日～5日かけては、日本海と本州の南海上を二つの低気圧が発達しながら通過したため、東北太平洋側南部を中心にまとまった降水となった。気温が低く経過していたため、雪となる所もあり石巻では最深積雪が23cmとなるなど、大雪となる所もあった。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり多い。日照時間は東北北部で多く、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)

2005/2006年寒候期 季節現象(初日)									
官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	10.27	10.23	11.08	11.16	10.29	11.16	11.8	11.07	10.27
八戸	11.16	10.27	11.08	11.16	11.02	11.29	11.15	11.11	11.29
秋田	11.21	11.06	12.09	11.21	11.13	12.09	11.15	11.12	11.28
盛岡	10.26	10.18	10.28	11.1	10.24	10.28	11.15	11.08	11.16
大船渡	11.10	11.05	10.28	11.15	11.11	10.28	11.20	11.18	12.17
宮古	11.10	10.31	10.28	11.10	11.05	10.28	11.30	11.16	12.15
仙台	11.20	11.06	12.03	12.3	11.16	12.03	12.3	11.22	12.17
山形	11.1	10.24	10.28	11.1	10.29	10.28	11.19	11.16	12.16
酒田	12.6	11.12	12.09	12.6	11.20	12.22	11.30	11.17	12.16
福島	11.17	11.06	10.29	11.17	11.11	11.30	12.3	11.24	11.30
若松	11.1	10.28	10.29	11.1	11.06	11.24	11.16	11.17	11.30
小名浜	11.18	11.11	12.03	11.21	11.19	12.03		12.13	12.23

初冠雪									
山岳名	海抜(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海抜(m)	本年	平年	昨年
ハッコウダサン 八甲田山	1584	11.8	10.16	10.23	アサヒダケ 朝日岳	1870	11.10	10.19	10.28
イワキサン 岩木山	1625	11.9	10.15	10.28	ガンドサン 雁戸山	1485	11.10	10.28	10.28
ハシカミダケ 階上岳	740	11.19	11.12	12.06	リュウザン 滝山	1362	11.10	10.30	10.27
タイハイサン 太平山	1170	11.9	10.31	10.27	イズミガタケ 泉ヶ岳	1175	11.9	11.06	10.27
イワテサン 岩手山	2038	10.24	10.13	10.27	ザオウサン 蔵王山	1841	10.24	10.23	10.27
ゴヨウサン 五葉山	1351	11.9	11.07	12.06	アソマヤマ 吾妻山	1949	10.23	10.21	10.27
チヨウカイサン 鳥海山	2236	10.25	10.09	10.17	イイデサン 飯豊山	2105	10.24	10.17	10.16
ガッサン 月山	1984	10.26	10.15	10.18	パンダイサン 磐梯山	1819	11.9	10.24	10.27

注：蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。

# お知らせ

## 平成 18 年の季節予報発表日について

平成 18 年の季節予報発表日は次のとおりです。

	1か月予報	3か月 予報	暖候期 予報	寒候期 予報
1月	6日、13日、20日、27日	25日		
2月	3日、10日、17日、24日	23日	23日	
3月	3日、10日、17日、24日、31日	23日		
4月	7日、14日、21日、28日	25日		
5月	5日、12日、19日、26日	25日		
6月	2日、9日、16日、23日、30日	22日		
7月	7日、14日、21日、28日	25日		
8月	4日、11日、18日、25日	24日		
9月	1日、8日、15日、22日、29日	25日		25日
10月	6日、13日、20日、27日	25日		
11月	3日、10日、17日、24日	22日		
12月	1日、8日、15日、22日、29日	25日		

この件に関するお問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係  
Tel : 022-297-8110